

令和6年度倫理審査委員会報告

倫理審査委員会委員

森島祐子	筑波大学
竹谷悦子	筑波大学
田淵多江子	
渋沢龍也	森林総合研究所研究ディレクター（委員長）
細田和男	森林総合研究所研究ディレクター
正木 隆	森林総合研究所研究リスク管理監（オブザーバー）

第一回委員会

開催日	： 令和6年6月27日
開催場所	： 森林総合研究所 第2会議室
審議事項	： 1. 人を対象とする生命科学・医学系研究計画書審査 （変更4件） 2. 実施状況報告書の審議（11件） 3. 終了報告書の審議（6件） 4. 規程の一部改正 5. その他

概要：

今年度より2年の任期を務めていただく外部委員の紹介、内部委員の交代と研究リスク管理監のポスト新設に伴い、本委員会ではオブザーバーとして参加することが事務局より報告された。委員長は委員の互選により決定される、事務局より渋沢ディレクターが推薦され異論無く承認された。

（1）人を対象とする生命科学・医学系研究計画書（変更）の審議

申請のあった変更申請4件について、研究計画書と実施状況報告書を合わせて審議することとした。4件とも、研究代表者、研究責任者が委員会からの指摘事項に対する修正及び確認事項に対する回答を行い、委員会が修正、回答の確認を行った後に承認することとなった。主な指摘は以下の通り。

- 研究担当者の変更があった際には、研究計画から外れた方の役割を誰が担うのか明確にすること。
- 研究責任者が大学の自身の講義中に学生を対象として調査を行う研究について、単位を付与される学生に不利益が及ばないか明らかにしておく必要がある。また、研究実施体制に役職名も明記することが指摘された。
- 試料・情報の当該研究以外での利用及び他研究機関への提供時に、新規課題での利用となるため倫理審査を再度受ける必要があることが確認された。
- 相談等への対応について、研究課題によって窓口が異なることについて質問があり、旧書式では事務局を含んでいたが、現在の書式では研究代表者と研究責

任者が窓口となり事務局は含まないこととなっていると事務局から回答があった。

- 全体的に書式（文字下げ、インデントの統一等）を見やすくするように指摘があった。

（２）実施状況報告書の審議

実施状況報告書 11 件のうち 4 件は、研究代表者、研究責任者が委員会からの指摘事項に対する修正及び確認事項に対する回答を行い、委員会が修正、回答の確認を行った後に承認することとなった。修正点は年度間違いや所属の記載順、記載漏れの修正など軽微なものであった。

他に提出された 4 件の実施状況報告書については、修正等を求める意見はなく承認された。残る 3 件は研究期間を年月日まで正確に記すことの指摘があったが次回以降の修正となった。

他に謝金の基準について委員より質問があり、支出可能な研究費の多寡、研究対象者の拘束時間等を考慮し研究者側で決定しており、統一的な基準は無いことが報告された。

（３）終了報告書の審議

終了報告書 6 件のうち 2 件は研究代表者、研究責任者が委員会からの指摘事項に対する修正及び確認事項に対する回答を行い、委員会が修正、回答の確認を行った後に承認することとなった。

1 件は「個人情報を含まない研究結果の概要について、調査協力を受けた大学に提供した。」とあるが、概要とは提供して問題ない物であったのか確認することが必要との指摘があった。また、この文章の記載場所についても適切か検討すべきと意見があった。もう一件は書式の修正のみ。

他、提出された終了報告書 4 件については、修正等を求める意見はなく承認された。

（４）規定の一部改正

研究リスク管理監を委員に含めるための規程の改正について事務局より概要の説明があった。改正については承認された。

（５）その他

教育訓練の実施体制と記録について委員より質問があり、APLIN の e ラーニングを森林総合研究所の中長期期計画毎に受講し、受講記録を補存していることが報告された。森林総合研究所職員以外は学振の教材を利用していることも報告された。

第二回委員会

開催日 : 令和7年1月27日～令和7年2月5日

開催方法 : 書面審議

審議事項 : 人を対象とする生命科学・医学系研究計画書審査（新規1件）

概要 :

申請のあった1件の研究計画書は委員からの研究内容に変更が必要な指摘等はなく
全会一致で承認することとなった。